

地域経済部門は、経済を地域という切り口で考える研究・教育を行っている。今日我々が生きている経済社会を空間と時間という 2 つの軸によって探求してみると、時間の軸とは歴史である。日本であれ国外の諸地域であれ、ある地域を包括的に理解しようとするれば、その地域の経済社会が今日このような姿であるのはどうしてなのか、過去にさかのぼってその成り立ちを調べていく必要がある。これに対し、地域経済部門が担うのは空間の軸である。開発経済学や農業経済学、行動経済学等の分析手法を用いて、日本、アジア、アフリカを研究対象とするスタッフが研究と教育を行っている。発展途上地域も日本国内の地域も現実には多様な問題を抱えており、当該地域固有の詳細な背景についての深い理解に加えて、経済理論に基づいてデータを用いた明晰で精緻な分析が必要とされている。地域に根ざす現代的な経済問題に関心のある学生、特定地域の経済に興味のある学生など、多彩な学生が訪れてくれることを願っている。